

令和3年5月11日

阿賀野市議会議長 市川英敏様

総務文教常任委員会委員長 風間輝榮

所管事務調査報告書

本委員会は、令和3年第1回議会定例会において議決を経た、閉会中の所管事務調査を下記のとおり行ったので、会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事項 (1) 堀越小学校長寿命化改良工事について
(2) タブレット端末を活用した教育について

2 調査期日 令和3年5月11日(火) 午前10時00分

3 調査経過

令和3年5月11日、神田教育長、菅原総務部長、高橋学校教育課長及び担当職員の出席を求めて委員会を開催し、調査を行いました。

4 調査結果

堀越小学校長寿命化改良工事、及びタブレット端末を活用した教育について、堀越小学校での現地調査を行いました。

長寿命化改良工事は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の3契約の分割発注により、令和2年4月から本年の3月までの1年で実施されました。工事費は約3億7,000万円となっております。

タブレット端末を活用した教育については、当市では令和2年度に児童・生徒1人1台の端末が配備されました。AIやロボットの力を借りて、人間がより快適な生活を送ることができる社会、つまりSociety5.0時代を生きる全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学び、及び協働的な学びを実現するためには学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠として、文部科学省ではGIGAスクール構想を推進しております。このGIGAスクール構想の下、当市においてもこれまで培ってきた教育の実践と、ICTの技術を活用した新しい教育実践を効果的に組み合わせることが重要課題となっております。

現地では、まず改修された堀越小学校の各施設、設備について説明を受けまし

た。屋根・屋上の防水、外壁や建具、内装や家具、その他給食搬入プラットフォームや保健室などの建築工事のほか、トイレの水洗設備の改良による新型コロナウイルスなどの感染症対策や、無線LANやタブレット端末の充電・収納スペースといったICT活用に向けた設備を確認しました。

続いてタブレット端末を活用した教育として、6年生と3年生それぞれの算数の授業を視察しました。視覚的に解き方を理解しながら、児童同士の画面を共有して共に考える、というような、タブレット端末ならではの新しい授業が実践されています。

現地視察の後、長寿命化改良工事とタブレット端末を活用した教育、それぞれについて質疑が行われました。

長寿命化改良工事については、外壁の損傷が大きく、また新型コロナウイルス感染症関係への対応から、当初の予定より工事費が増加した件についての質疑がありました。

タブレット端末を活用した教育については、各家庭におけるWi-Fi環境整備や阿賀野市全体としてのICT活用の状況などについて質疑されました。

これらを踏まえ、教育におけるICT活用にあたっては、各家庭や学校間における活用度合の格差が生まれぬよう配慮していくことが重要であり、各学校が連携した継続的な研修等を通じて、GIGAスクール構想実現に向けた教育を実践していただきたいと意見集約されました。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査の委員長報告といたします。